

QuickDASH の採点法

QuickDASH は二部構成です。機能障害・症状のセクション（11 項目の質問があり、それぞれ 1-5 点が当てられます）とスポーツ / 芸術活動、仕事に関する選択項目（それぞれ 4 項目の質問があり、各項目 1-5 点が当てられます）です。

機能障害 / 症状 スコア

点数を計算するためには、11 項目のうち少なくとも 10 項目に回答してもらう必要があります。答えを得られた回答の点数を単純に合計し平均して、5 点満点の点数を出します。その値から 1 を引き 25 を掛けて 100 点満点に換算します。この換算をすると 0-100 点で評価された他の尺度と比較しやすくなります。点数が高ければ高いほど障害が大きいことを示しています。

$$\text{QuickDASH機能障害/症状のスコア} = \left[\frac{(\text{n個の加算点数})}{n} - 1 \right] \times 25$$

n は回答があった項目数

選択項目（スポーツ / 芸術活動、仕事）スコア

二つの選択項目のグループがあり、それぞれ 4 項目からなります。これらの選択項目はスポーツ選手、演奏家、上肢をよく使う仕事に就いている人たちを対象にしています。この人たちが困難を感じるのは専門的な活動をしている時だけかもしれません。その場合 QuickDASH 機能障害 / 症状 スコアでは測ることはできません。

機能障害 / 症状 スコアで述べた手順に従って、4 項目からなる選択項目の点数を計算します。点数を計算するためには 4 つの質問すべてに回答してもらう必要があります。それぞれの選択項目で回答に対応する点数を単純に合計し 4（項目数）で割ります。その値から 1 を引き 25 を掛けて 100 点満点の点数を計算します。

$$\text{QuickDASH選択項目スコア} = \left[\frac{(\text{4個の加算点数})}{4} - 1 \right] \times 25$$

回答がない項目の取り扱い

10% を超す項目（つまり 2 項目以上）が無回答の場合、QuickDASH 機能障害 / 症状 スコアを計算できません。このルール（無回答が項目数の 10% を超えてはいけない）に従い、各選択項目のグループは 4 項目しかないので、選択項目では欠損値は許されません。